



高萩市長
大部 勝規 氏

筑波銀行高萩支店長
佐藤 洋

筑波銀行は地域金融機関として、地域の皆さまとのつながりを深めるべく取り組んでいます。「支店長のわがまち紹介」は、筑波銀行の支店長が所在エリアの市町村をご紹介させていただくコーナーです。今回は茨城県高萩市です。筑波銀行高萩支店長 佐藤洋が高萩市長 大部勝規氏にお話を伺いました。

市民が主役のまちづくり

今年1月の市長選挙で再選し、2期目の市政を担わせていただいています。私は1期目から「市民主役のまちづくり」を基本理念に掲げ、様々な施策に取り組んできました。市民が満足できる豊かな生活をおくるためのサービスを提供していくことが行政の基本的な役割です。そのため1期目は、本市が抱える喫緊の課題解決に優先して力を注ぎ、北茨城市との広域ごみ処理施設の整備や認定こども園の建設、工業団地への企業誘致、地域医療対策などに取り組んできました。

2期目は、1期目から取り組んでいる観光振興や中心市街地活性化に関する施策を拡充し、交流人口の拡大や老朽化した既存施設の集約を図っていきます。また、AIやIoT等の新しい技術を活用した行政手続きのオンライン化や電子決済などの利便性向上、高齢者の見守りなどの福祉の向上にも取り組んでいきます。

なお、私は持続可能なまちづくりのためには投資と緊縮のバランスが取れた財政運営が大切だと考えています。そこで、広域ごみ処理施設を建設

し、ごみ処理を民間委託から公営にすることで、年間約1億円もの経費を削減します。また、認定こども園を建設し、市内の公立保育所と幼稚園を1つに集約することで経費を削減します。このような歳出削減につながる先行投資をしっかりと行い、市民の意見に耳を傾けて時代の変化に柔軟に対応した、未来を見据えたまちづくりを推進していきます。

たかはぎ認定こども園の設立と教育施設の集約

今年4月1日に開園した「たかはぎ認定こども園」は、環境に配慮した素材やLED照明を導入した建築で、健康面から自然採光や風通しを考えた設計とし、安全面から道路・駐車場と園庭の間に園舎を配置するなど、子ども達がより快適で安全・安心に幼児教育・保育を受けることのできる施設です。

このこども園の整備は、本市においても少子化が進行するなか、将来を担う子どもたちの学習環境を最優先に考えて進めたもので、まずは2つの

幼稚園と1つの保育所を統合しました。今後、市内の2つの公立幼稚園を統合する計画です。

これに合わせて、小中学校の適正配置も検討していきます。まず、保護者や市民、専門家による協議会を設置し、その意見を丁寧に聞きながら適正配置計画を策定します。協議会のメンバーは、実際に子育て中の、子どもの将来を真剣に考えている若い世代を中心に、男性・女性を半分ずつ選定する予定です。

保幼小中の教育環境を整備し、子どもたちの知識や学力だけではなく、多様な価値観、社会性、豊かな人間性などを育てていきます。



アウトドアのまち たかはぎ

小山ダムの活用

本市は、紅葉で有名な花貫溪谷や変化に富んだ海岸線といった豊かな自然環境に恵まれています。観光入込客の約7割は秋の花貫溪谷に集中しているため、滞在時間が短く、市内での交流や経済効果が少ないことが課題です。そこで、市域の80%を占める山間部を活用した滞在型観光の推進を目的に、「アウトドアのまち たかはぎ」をスローガンに掲げ、民間事業者とともにアウトドア・アクティビティの充実を図っています。

2018年8月には、茨城県最大のダムである小山ダムの敷地や周辺の3haの県有地・市有地を活用した「高萩アウトドアフィールド『はぎビレッジ』」の整備に着手しました。2019年7月には、小山ダムの湖面を活用したカヌーやサップ、グランピングやキャンプが楽しめる「ストームフィールドガイドはぎビレッジ店」がストームフィールドガイドによってオープンしました。また、今年5月には、ブッシュクラフト^{※1}が楽しめるキャンプ場「Bush&Lake in はぎビレッジ」がブッシュクラフト株式会社の運営でプレオープンしています。今後は、テントサイトを拡大するための整備を進めていきます。

既存観光スポットの整備と面的活用

既存の観光スポットの整備も進めていきます。まず、花貫溪谷では、自然資源を活用したアクティビティを導入し、四季を通じて楽しめる観光スポットを目指し、今年度中に「花貫溪谷活用・整備基本構想」を策定する予定です。

また、植樹祭で昭和天皇・皇后両陛下がお手まき行事を行われた高萩市森林公園（お手まき記念公園）や、教育キャンプ施設「高萩スカウトフィールド」など市内に点在する観光スポットをつなぐ道路を地方創生道整備推進交付金等の活用で整備し、複数の観光スポットを面とすることで、観光客が滞在・周遊しやすくなる環境を整えます。



車中泊の実証実験

時代に即した取り組みとして、今年3月、本市は日産自動車株式会社と車中泊体験の実証実験に関する協定を締結し、4月末から5月半ばにかけて車中泊の実証実験を行いました。

実証実験の内容は、参加者に車中泊仕様の日産キャラバンを貸し出し、市内各地の観光名所などから選んだ好みの場所で車中泊していただくというものです。

アウトドアを中心とした自然を楽しむアクティビティ、本市名産の食材を使った食事も楽しんでいただき、参加者からは大変好評をいただくことができました。

実証実験は10組限定の募集でしたが、1,800組もの応募があり、手ごたえを感じています。

今後も、こうした事業をとおして、本市をまた訪れたい、誰かを連れてきたい、といった波及効果が生まれることを期待しています。

^{※1} ブッシュクラフト：不便な自然環境の中で生活の知恵を駆使して火おこし・焚き火などを行い、自然をより身近に感じるアウトドアスタイル。P11も参照してください。

地域おこし協力隊の活躍

本市は2016年度から地域おこし協力隊の制度を導入し、農業や観光振興に係る業務を実施してもらっています。

2019年度から委嘱している20代の二人の女性は、2021年10月、本市山間部の古民家を活用したフィンランド式サウナやドッグランを備えた施設「コアミガメ」をオープンさせました。市内外から多くの方々が訪れています。

彼女たちは、我々が気づけなかった本市の良いところを見つけ、試行錯誤の末に自分たちが生計を立てていけるような事業をつくり上げてくれました。

今後も、地域おこし協力隊が地域資源を生業につなげられるようバックアップするとともに、交流人口や関係人口の増加を図っていくアクティビティの充実をタイアップして進めていきます。



古民家活用のサウナ(コアミガメ)

乗合デマンドバス 「My Ride のるる」

市街地の路線バスは、採算の悪化から便数が減り、さらに採算が悪化するという悪循環に陥っており、持続的な公共交通の確保が困難になっていました。その一方で、高齢化の進展により運転免許証を返納する市民も増加しており、公共交通の充実を求める声も増えていました。

このような状況を改善するため、2021年7月より、日中の高齢者の買い物や通院の足として活用することを想定した、ダイナミックルーティングシステム^{※2}を導入した乗合デマンドバス「My Ride のるる」の実証運行を乗客が比較的少ない日中の路線で開始しました。

「My Ride のるる」は、スマホアプリまたは電話からの予約に応じて運行し、予約状況に合わせてAIが車両のルートやスケジュールを算出し、効率的な配車、運行を行います。また、仮想バス停を増設することにより、既存のバス停以外からも乗降でき、定時・定路線バスでは拾いきれない移

動需要に対応可能です。

現在は4台のバスが稼働しています。仮想バス停は141か所増設しており、既存のバス停と合わせると237か所での乗降が可能となっています。今年10月の本格運行を予定し、より良いものとなるようデータを積み上げています。

今後、「My Ride のるる」が定着すれば、高齢者は移動手段を誰かに頼ることなく、自分の力で買い物や通院などができるようになります。運転免許証を返納しても好きなことができるようになるため、もっと元気でいたいという気持ちが出てくるはずです。

ようこそ市長室へ

本市では、市民がまちづくりについて直接意見を伝えられる「市長への提言箱」の設置および市長室開放事業「ようこそ市長室へ」に取り組んでいます。これらにより、市民から多種多様な意見をいただき、施策に取り入れてきました。

例えば、「My Ride のるる」事業には、高齢化が進むなかで公共交通の充実を求める意見を反映させています。また、介護予防に係る体操の有効性についての提言を受け、シルバーリハビリ体操の普及推進にも力を入れています。

住みやすいまちづくりのためには市民の様々なニーズを把握する必要があり、寄せられた意見はすべて目を通しています。

「市長への提言箱」は、市役所庁舎総合受付等に設置しているほか、ホームページにメールフォームも設定しており、市民が意見を出しやすい環境を整えています。

筑波銀行に期待すること

住みやすいまちをつくるためには、民間企業との連携が欠かせません。筑波銀行には中心市街地活性化のあり方を考えていくなかで勉強会の開催や事業者との意見交換の調整など、中心的な役割を果たしてもらっています。

引き続き、地域の銀行として地方創生の一翼を担い、持続可能なまちづくりを進めていくためにご協力をお願いします。

(取材日：2022年4月21日)

^{※2} ダイナミックルーティングシステム：人工知能（AI）を利用して、利用者からのリクエストに合わせてバスの運行経路とダイヤを最適化して運行するもの。既存のバス停に加え、システムの地図上に数多くの仮想バス停をきめ細かく設定することで、利用者の利便性を大幅に高めるとともに効率的な運行を行う。



わがまちの観光振興 —高萩市—

このコーナーでは、「支店長のわがまち紹介」で取材させていただいた市町村の施策や事業、取り組みなどを紹介しています。

高萩アウトドアフィールド「はぎビレッジ」

高萩市は海、山、川が近接する自然豊かな立地を活かし、滞在型観光の推進、アウトドア・アクティビティの充実を図っています。

小山ダムとその周辺に「高萩アウトドアフィールド『はぎビレッジ』」を整備し、アウトドア専門の民間事業者とともに「アウトドアのまち たかはぎ」を発信します。

ストームフィールドガイド はぎビレッジ店

川や湖などを舞台に、大空と水面の間を移動する水辺のアクティビティを提供するストームフィールドガイドは、茨城県内に那珂川店（常陸大宮市）、竜神峡アウトドアフィールド店（常陸太田市）、はぎビレッジ店（高萩市）の3店舗を展開しています。

カヌーやサップなど水辺のアクティビティを初めて体験する方は不安に感じるかもしれませんが、同店では自然と謙虚に向き合い、装備と安全への正確な知識、経験をもって、各アクティビティを安全に楽しむご案内をしています。

ブッシュクラフト株式会社 Bush&Lake in はぎビレッジ

ブッシュクラフトとは、不便な自然環境の中で生活の知恵を駆使して火おこし・焚き火などを行い、自然をより身近に感じるアウトドアスタイルのことです。Bush&Lake in はぎビレッジは、ブッシュクラフト株式会社が運営するブッシュクラフトに特化したキャンプ場です。

小山ダムに隣接する広大な敷地で、一般的なキャンプ場では禁止されている直火の焚き火や生木の切断、敷地内を流れる川でのヤマメ釣りを楽しむことが可能で、ブッシュクラフトの本質である「自然生活の知恵」をすべて体験できます。これらを安全に行うための方法は講習で学べるので、安心して楽しむことができます。

ストームフィールドガイドはぎビレッジ店のアクティビティ



カヌー



サップ



グランピング

Bush&Lake in はぎビレッジのアクティビティ



ブッシュクラフト